

「岩国行動 2012」に寄せて メッセージをお送りします

米軍艦載機移駐、愛宕山米軍住宅建設、オスプレイ配備に反対して本日参加されました皆様に、心より連帯の挨拶を送ります。

7月23日にオスプレイ12機が岩国に陸揚げされたとき、私も現地に駆け付けて抗議しました。事故が続発している欠陥機オスプレイがすでに沖縄では民家の上空を飛んでおり、日米合同委員会の合意で住宅地上空のヘリモードや転換モードでの飛行が制限されているにもかかわらず、訓練で合意に違反する飛行が続いています。

北海道を除く全国で、7ルートの低空飛行訓練も計画されています。実戦を想定し、日本の航空法を無視した低空飛行はこれまでも墜落事故、木材運搬用ワイヤー切断事故など数々の事故がありました。危険なオスプレイは、沖縄にも岩国にも、どこにもいません。事故を起こす前に今すぐ米国に帰ってもらいましょう！

その上、沖縄では米兵による事件も多発しています。10月16日に米兵2名による女性暴行事件が起こり、さらに11月2日には夜間外出禁止令を破った米兵が民家に侵入し中学生に暴力、18日にも夜間の住居侵入事件が発生しました。怒り心頭です！岩国では愛宕山地域開発事業跡地に米軍住宅の建設が進められようとしています。治安悪化が十分に予想される米軍住宅の建設に反対の声があがるのは当然です。愛宕山の地権者は一般住宅建設のために土地を売ったのであり、米軍住宅誘致に住民が賛成したわけではありません。米軍艦載機移駐と併せて、岩国の人々と共に必ず阻止しましょう！

11月16日、衆議院は解散しました。来たる総選挙では、脱基地、脱米国追従、反軍備、平和憲法堅持の議員を選び、私たちの手で真の平和を勝ち取っていきましょう。日米安保を破棄し、沖縄から、岩国から、日本から、アジアから米軍基地を撤退させるために、全力をあげて闘いましょう！

2012年11月23日

社民党前衆議院議員

服部良一

アジア太平洋反米軍基地ネットワーク

連帯メッセージ

「日本での米軍基地の強化はアジア太平洋に更なる戦争をもたらす」

2012年11月23日

近年の日本での米軍基地の増強は、アジア太平洋地域でさらに多くの主権侵害と侵略戦争をもたらすものです。それはアジアにおける米軍プレゼンスを強化しようとする米国の「再調整」戦略の一部であり、日本を中国や朝鮮民主主義人民共和国に対する挑発と第三世界諸国における進歩的民衆運動への恫喝のために日本を使おうとするものです。これは、米国がこの地域のすべての経済資源を独占するために計画された新たな多国間貿易協定、環太平洋パートナーシップ協定（TPP）の実現に向けて道を掃き清めるためにおこなわれています。

この状況は日本の民衆を米国の戦争に巻き込むという点で、また大量破壊兵器の自国での保管という点で、日本の民衆を危険にさらしています。沖縄、岩国、神奈川は、朝鮮戦争など米国の介入のための基地として使われてきました。今、ペンタゴンの戦争屋たちは、再びこれらの基地を東アジアにおける更なる軍事的関与、とりわけ中国の包囲と朝鮮民主主義人民共和国における「体制変革」というその長期計画のための前方展開基地として使おうとしています。

これらの基地は核兵器が保管されていたことだけでなく、技術的欠陥をもつMV-22オスプレイなどさまざまな致命的兵器が駐留していることで知られています。1966年、在日米国大使のエドウィン・レイシャウアーは、辞任の脅しを受けながらも、まだ撤去されていないならば岩国基地内には核兵器が存在すると公に非難し、それは日米安保条約への明確な違反であると述べています。

いま多くのオスプレイが在日米軍基地に配備されようとしています。それは基地周辺の住民に更なる脅威と災厄をもたらし、また、より多くの米兵を運び込むことで、最近沖縄で起こったレイプ事件のように日本の人々に対してより多くの人権侵害をもたらすことになります。

アジア太平洋において米軍基地・施設の存在に苦しめられているのは日本だけではありません。フィリピンは、1991年の北部にあったふたつの巨大な米軍基地の閉鎖にもかかわらず、訪問軍協定（VFA）やその他の不平等条約を結ばされ、米国と軍事的に結びつけられ、中国を挑発するための毎年の合同軍事演習への参加を強制されています。他にも韓国、オーストラリア、ニュージーランドなどアジア太平洋各地に多くの米軍基地が存在し、そのためにそれらの国の民衆は望んでいないにもかかわらず米国の干渉的外交政策の道具にさせられ、それらの国の政府は米国の介入主義に従属させられています。それゆえ、アジア太平洋地域の民衆には、米国政府による基地強化と「再調整」戦略に反対してたたかうべき共通の理由があります。

私たちはこの米国の新たなミリタリズムとアジア太平洋での基地強化に反対しなければなりません。アジア太平洋反米軍基地ネットワークに参加している進歩的民衆団体は、日本の民衆と声をひとつにして、在日米軍基地の強化を拒絶し、米日軍事同盟に反対し、アジアからの米軍の総撤収を求めます。継続する米国の軍事侵略、抑圧、経済収奪に反対する共同行動のための地域的な連帯を強めていきましょう。

日本にも、フィリピンにも、アジア太平洋のどこにも米軍と米軍基地はいらない！

TPPと米国の経済収奪反対！

国際連帯万歳！

Sydney Peace & Justice Coalition



PO Box K941, Haymarket NSW 1240

ABN 75 758 105 719

シドニー平和と正義連合

2012年11月23日－24日の岩国での反基地行動への連帯メッセージ

シドニー平和と正義連合は、日本での米軍基地の強化を止めるために、とりわけ岩国、神奈川、沖縄での基地の圧倒的強化を止めるために、今日岩国に集まったすべての皆さんに対して最大限の連帯を表明します。

ここオーストラリアでは、米国－オーストラリア－日本－フィリピンの各政府による軍事同盟が強化され、日本やフィリピンからローテーション配置される米海兵隊の戦闘部隊のダーウィンへの恒常的な駐留が始まっています。

さらに、オーストラリア西部のフレマントル港の米空母の基地化やココス・キーリング諸島への米軍の無人機の配備が計画されています。

これらはすべて中国に対して戦争を遂行するための能力を増強することを目的にしています。私たちは自分たちのもつあらゆる手段を使ってこのような戦略を打ち倒さなければなりません。

こうした新たな米軍の配備はオーストラリアの独立性に対する大きな侮辱であり、国連憲章もうたっているが国家間の戦争に反対する私たちの取り組みへの侮辱に他なりません。

それゆえ私たちは皆さんの要求を全面的に支持します。

岩国基地強化反対！

愛宕山米軍住宅建設の中止を！

オスプレイ配備反対！

沖縄、神奈川などでの米軍基地の強化反対！

米日軍事同盟反対！

米軍はアジアから撤退せよ！

連帯をこめて

ピーター・マーフィー

事務局

Convenors: Bruce Childs 0412 803 457; Fr Claude Mostowik MSC 0411 450 953;

<http://www.nswpeace.org.au>; info@nswpeace.org.au